

進修館だより 交流マップ

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様を、
マップに掲載していく形でご紹介します！



■ 進修館のブドウ棚と巨峰

開館当時、宮代町ブドウ組合の協力で進修館に町の特産品巨峰が植えられました。屋上までかかっているワイヤーネットはぶどう棚になっています。収穫されたブドウは、かつては町民まつりの来賓などに提供されていたそうです。

Community Center Shinsyukan 進修館だより



進修館だより 2024年9月号（第42号） 第1版：2024/08/29 発行

発行元：宮代町立 コミュニティセンター進修館

（指定管理者：特定非営利活動法人 MCAサポートセンター）

住 所：〒345-0822 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-1-1 TEL：0480-33-3846

U R L : <https://www.shinsyukan.or.jp> E-mail : info@shinsyukan.or.jp



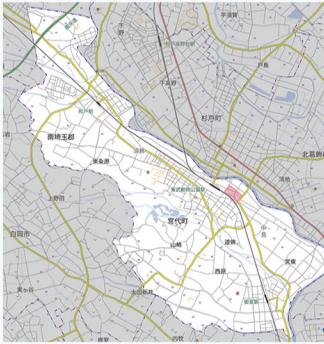
地区自治会におじゃまします！

◆ 稲荷町町内会

自治会情報 [稲荷町町内会]

【構成】

155世帯



和やかに開催されているサロンの様子。この日の参加者は7名でした。

東小学校を擁する住宅地にある稻荷町内会は、百間公民館の2階にある百間集会所を拠点にしています。今回は、この百間集会所で毎月開催されているサロンにおじゃまして、お話を伺いました。

【和やかなサロン】

稻荷町内会では、毎月第1水曜日にサロンを開催し、かるたやゲームなどの楽しい企画を通して、地域の方々が気軽に集まる場づくりを行っています。天候などによ

って人数が少ないこともあるそうですが、「近くに通う場所があるということが、自宅にこもらず出かけるきっかけになる」と、サロンを大切にしている声もきかれます。取材でお邪魔した日は酷暑の盛りにもかかわらず、参加者のみなさんは汗を拭きながらも笑顔で会場に入ってきた。お茶とお菓子を囲みながらの和やかな会話は、ご自身のボランティア活動の様子を話したり、

ハクビシンやカラスの被害や昨今の空き家の増加など身近な地域課題に関する話題など、実に様々でした。いずれも気軽なやり取りのようですが、ご自身の暮らしに根差している事柄を、自分事として何とかならないかと考えていることがうかがえました。稻荷町内会では、このサロンの他にも体操教室なども開催し、地域の方々の交流の機会をつくっていました。

【地域の安心安全の要として】

稻荷町内会の加入は95%くらいのこと。「戸建て住宅に古くから住んでいる方が多いこともあるかもしれないが、そのつながりが効いているのかもしれない」と役員の方はおっしゃっていました。新たに引っ越してきた世帯でも、役員さんの声掛けに応じて自治会に加入することのこと。これは自治会が地域の暮らしの安心の要になっている、と理解されているからこそだと

思われます。その一例として、町内会の事業として企画されるバス旅行のプランの中に埼玉県防災学習センターの見学も加えるなど、楽しみの中にも地域の安心安全についても考慮されています。こうした取り組みが、安定した自治会加入率につながっているかもしれません。

【地域のあたたかいつながり】

サロンを終えての帰りしな、役員さんと参加者の方々が次回以降のサロンについて話している、何気ない会話を耳にしました。そこでは今回のサロンを休んだ方への声掛けや、メンバーそれぞれが無理なく準備に関わるための算段などがやりとりされました。こうした心づかいは、どこでも当たり前に行われていることだと思われますが、地域のつながりはお互いが関心を持ち合うことだと、改めて感じました。

宮代町の気になるところを訪問したり調べたり。雑学を交えつつ宮代町のいろいろを見てみました。

みやしろ町のいろいろ

◆ 公民館と集会所

宮代町には、3つの公民館と37の集会所（+集会所的な存在1つ）があります。公民館は社会教育施設という位置づけで役場が管理しており、問い合わせ時は教育推進課生涯学習・スポーツ振興担当に連絡します。集会所は自治会や町内会が管理しており、問い合わせ時は各地区の担当者に連絡します。

百間集会所は百間公民館の中にあります。百間公民館は町役場、集会所は旭町1区、旭町2区、稻荷町の3つの町内会が管理しています。

【宮代町内の公民館】

川端公民館	百間公民館	和戸公民館
-------	-------	-------

【宮代町内の集会所】

東集会所	姫宮集会所	新道集会所	国納集会所
中寺集会所	姫宮南団地集会所	弁天会館	宮代台集会所
中集会所	姫宮北団地集会所	蓮谷集会所	和戸宿集会所
金原集会所	川端集会所	辰新田集会所	沖の山集会所
逆井集会所	宮東集会所	学園台集会所	八河内集会所
山崎集会所	松ノ木島集会所	須賀上集会所	桃山台自治会館
宿集会所	内野集会所	須賀集会所	百間集会所 (百間公民館内)
西原集会所	若宮集会所	須賀島集会所	
西原団地集会所	中須集会所	東条原集会所	一庵坊
藤曾根集会所	道仏集会所	西条原集会所	(集会所的に使用)

このコーナーでは、宮代町内の地区・自治会の取り組みや地域の特色などをお届けいたします。

教えて、田沼さん！「進修館のあんなこと、こんなこと」第2回

このコーナーでは、進修館の建設時に宮代町役場職員として関わった田沼繁雄さんに、当時のエピソードなどを伺います。

2024年8月中旬、進修館ではロビーのレイアウト変更をおこないました。家具を動かしたり組み直したりしていると、ロビーは様々な表情を見せてくれます。のびのびとしたこの空間、進修館開館当時はどのような様子だったのだろう…。田沼さんに聞いてみました。

田沼さんによると、ロビーはもともと「誰もが自由に使える場所があったらいいな」という当時の町の方々の声に応えて作られ



田沼さん近影。一緒に写っているのは、象設計集団が制作した進修館の模型。

たのだそうです。このため、進修館1階の大小ホールや研修室・集会室など、目的をもって来館する人のための施設とは異なり、ふらりと気軽に立ち寄って、友人と話したりできる場所があるなど、緩やかなつながりができる場所になっています。

また、現在のロビーはガラス窓が多くて明るく開放的な雰囲気ですが、当時は北面した芝生広場側の回転窓は木製だったそうです。すべて木製だった当時は、今とは



ロビー北側の木製だった回転窓の前で。一部はガラス戸に入れ替えられています。

また違った、もっと重厚な雰囲気だったのかもしれません。「気候がいい時に回転窓を開けておくと、風が通り抜けてとても気持ちがよかったです。でもそこからコロナードに入りする強者もいたりして…。まあ何とも自由な感じでしたよ」と笑顔で教えてくださる田沼さん。何ともびやかですね。そうはいっても、ロビーにいらした方々は、お互いを気遣いつつ、心地よい時間を過ごしていたようです。



進修館開館当時のロビーの様子。床の木製タイルが真っ白です！

ちょこっとコラム with セキ薬品

◆ セキ薬品オリジナルグッズ!?

先日、セキ薬品を訪問したところ、店頭にドーンと目立つポップが。



なんと、セキ薬品のオリジナルグッズが販売されていました。内容を見てみると、「ステッカー」「リール式キーホルダー」「タンブラー」「音楽CD」「ゴルフボール」などがあるようです。セキ薬品といえば、進修館だよりで日頃お世話になっている上に、個人としても生活用品や薬・食品などでお世話になっているので、ここは応援の意味も込めて、幾つか購入しよう！ということで、実際に購入してみました。

購入したのは、「音楽CD」「ステッカー」と「リール式キーホルダー」の3点。それぞれ、500円、99円、399円（税抜）となっています。その中で進修館だより編集部が特に注目したのは、音楽CDです。



セキ薬品の社員が歌うリニューアル版に加え、あの聞き馴染みのあるオリジナル版も収録されています。さらにカラオケ版も収録。もちろん歌詞カードも入っているので、いつでも歌い放題！あの歌が大好きな方は、たまらない一品となっております。みなさんも、店頭でセキ薬品オリジナルグッズを見かけたら、購入して日頃お世話になっているセキ薬品を応援しましょう！



ステッカー(99円)とキーホルダー(399円)



社名：株式会社 セキ薬品
住所：宮代町百間4-2-22
代表取締役会長 関 伸治
代表取締役社長 関 善夫
(会長・社長は、百間中学出身)



2023年12月
創業50周年
を迎えた！

進修館 NEWS

2Fロビーがリニューアル！「あたらしいロビーレイアウトについて」

来館者のみなさまが心地よく過ごせるように… 進修館の建物・家具の魅力が発揮されるように…

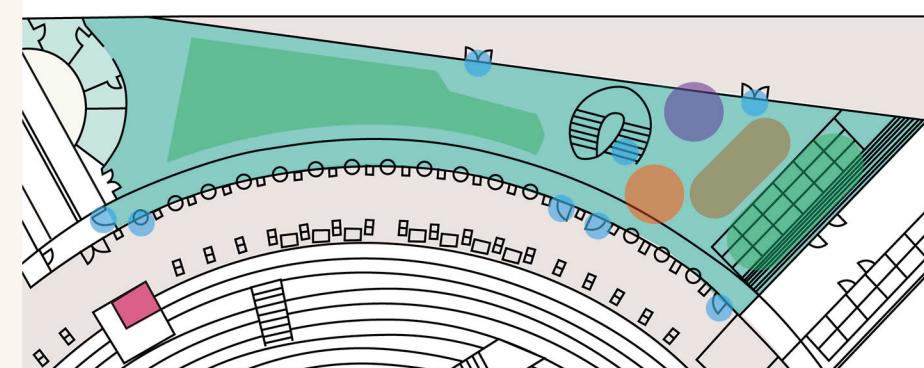
あたらしいレイアウトでは、上記のようなことを大切にしています。いつもご利用いただいている近隣の方々のほか、進修館を見学したい！と来館された方にも、このロビーで落ち着いた心地よい時間を過ごしていただけたら幸いです。

また、進修館が開放的な設計になっていることから、扉や窓から陽の光がたくさん入るようにしました。そして、これまで倉庫に保管されていた家具も活用しています。

「みんなの広場」エリアには、ギャラリースペースを新設しました。オープニングとして、進修館の様々な資料を展示しています。進修館グッズや町内外の交流ある事業者の商品などを販売するブースも設けました。こちらも是非ご覧ください。



- 「みんなの窓口」
進修館案内や各種ご相談など
- 「販売ブース」
進修館グッズなどの販売
- 「展示エリア」
進修館や町民関連の展示物設置
- 「休憩スペース」
自由にくつろいでいただける空間
- 「出入り口」
10時～18時、開放されています。



今回のレイアウト変更に伴い、これまで封鎖していた3箇所の出入り口を開放しました。たくさんの入口からたくさんの方々が入館され、ロビーでくつろいだり交流や観光などしていただけすると嬉しく思います。「みんなの窓口」では進修館のご案内のほか、宮代町のご案内や事業者（飲食店など）のご紹介なども行いますので、お気軽にお声がけください。

「展示エリア」は、進修館関連の展示のみではなく、市民活動をされている方の作品展示や町内事業者のご紹介など、来館された方々が楽しめる様々な企画展示を行っていきます。「休憩スペース」は来館された方がゆったりと気軽に過ごせるよう、全体的に余白を設けるようにしました。また、ピアノコンサートなども予定しており、皆さんにとってかけがえ

のない空間づくりを進めていきたいと思っています。

進修館では今後も、ロビーが過ごしやすい場所になるよう計らっていきます。たくさんの方々の快適空間を作るにあたって、「こうしてみてはどうか？」などご提案がございましたら、是非「みんなの窓口」まで越しください。皆さんと一緒にロビーについて考えていただけたら幸いです。

カンパニー・ヒュッゲ アーティスト紹介 第2回 テノール歌手 新城 匠さん

新城匠さんは、「放つ言葉にしみじみと情感が滲み出て、歌声が聴くものの魂に響く」と評されているテノール歌手です。今回は新城さんに、進修館の印象を伺いました。



「シーサーがたくさん置いてある市役所だと聞いていました。進修館を見て、『それと同じだ！』と思ったんです」と話してくださいました。

これまで進修館のステージに何度も立っている新城さんに、音楽家としてのホールの印象を伺ったところ、「小ホールは音の響きがとても良く、声が通ってとても気持ちが良い」とのことでした。ヒュッゲコンサートのときは、出演する演奏家たちが話し合ってレイアウトを決めたり、8月3日に小ホールで開催されたコンサートではピアノの位置をいつもより前にし、観客席がピアノを囲むようにしたそうです。「そうしたら声が前に通った感じがして、とても気持ちが良かった」と話してくださいました。ピアノを囲むようなレイアウトにすることで、

演奏家と客席がぐっと近くなります。観客側からすると、演奏家との距離が近くなりうれしいですが、演奏家はやりにくくならないのか？と尋ねたところ、「とても自由に気持ちよく歌えた」とのお答えでした。聴く側にとっても心地よいコンサートでした。

新城さんが目指しているのは「音楽でみんなが仲良くなること」とのこと。切磋琢磨する厳しいプロフェッショナルの世界において、良好な人間関係を築きながら演奏会を作り上げることを大切にしている、と話してくださいました。ヒュッゲコンサートは演奏の質の高さもさることながら、その心地よさに定評がありますが、新城さんの言葉からその一端が見えたように感じました。

■新城匠(テノール)

沖縄県浦添市出身。東京藝術大学声楽科卒業。これまでに「魔笛」タミーノ役「ラ・ボエーム」ロドルフォ役、そして埼玉県芸術文化祭2019地域文化事業 第31回サンシティ市民合唱団定期演奏会《忘れられた少年一天正遣欧少年使節》原マルチノを演じる。また宗教曲では、ベートーベン「第九」等ソリストを務める。第25回おきでんシュガーホール新人演奏会オーディション入選。これまでに声楽を山本令子、牧野正人、福井敬の各氏に師事。

【9月開催】進修館オープンカレッジのご案内

様々な世代が定期的に集まって、地域の課題解決や醸成・活性化などについて話し合う場です。1つのテーマごとに複数回集まり、いろいろ語り合うことで新たな仲間を見つけたり、新たな活動を生み出したりすることを目的としています。

進修館をアートで彩る 第3回 「公開プレゼンテーション」

日 時：9月14日（日）18時～20時

場 所：進修館ロビー「みんなのひろば」

内 容：進修館の魅力を引き出すアートプロジェクトの公開プレゼンテーションです。サポートメンバーとして関わってみたい人、企画内容を聞いてみたい人など、ご参加ください。

参加費：無料

進修館ロビー活用プロジェクト第1回 「みんなの本棚」について考える

日 時：9月下旬を予定

場 所：進修館ロビー「みんなのひろば」

内 容：「みんなのひろば」にみんなで本棚を作ろう！どんな本棚がいいかな？みんなで話し合い、決めていきます。

参加費：無料

※ 詳細については、進修館HP、公式LINEなどでお知らせします。

まちの皆様にインタビュー！

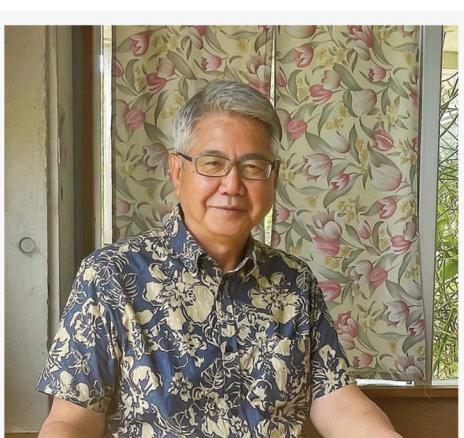
今回のインタビューは、沖縄県今帰仁村の副村長・比嘉克雄さんです。今帰仁村には、進修館と同じく「象設計集団」が手掛けた中央公民館があります。開館50年を迎える中央公民館の存続と利活用を検討する中で、進修館を視察したことを機に、進修館と今帰仁村の方々とのゆるやかな交流が始まっています。そのいきさつなどを中心に、お話を伺いました。

【価値ある中央公民館を大切にしたい】

比嘉さんは以前から、象設計集団が今帰仁村中央公民館の建設や地域計画の作成のために今帰仁村に長期滞在して入念なフィールドワークをしていたこと、地域住民が自らの暮らす地域を作り上げていく「自効建設」という考え方方が設計に取り入れられていることなどを耳にしていたそうです。現職になり、老朽化が進んだ中央公民館を建て替えるのか存続させるのかという議論があがった際にこのことを思い出し、むらづくりの理念がこもったこの建物を残していきたいと思ったそうです。

【進修館を視察し、思いが強まる】

中央公民館は建築的に高く評価されていますが、今後も存続するためには、公共施設として地域の人々がその価値を実感し、利活用することが大切です。様々検討を重ねる中で、象設計集団が手掛けた建物を活用している現状を見てみようということになり、比嘉さんは村役場の方々と2022年秋に進修館を視察しました。「訪れてみて、自効建設や自然を取り入れるなど象設計の理念が生かされていることを感じ、またそこに関わる人との交流を通して、中央公民館を残し、そこに込められたものを伝えていきたいとの思いが強まった」そうです。



今帰仁村では大型レジャー施設の建設が予定されていますが、「そのことに一喜一憂したり依存することなく、地域のシビックプライドを醸成していきたい」と比嘉さんは話していました。

【草の根的な交流を】

この視察を契機に、進修館と今帰仁村中央公民館とのゆるやかな交流がスタートし、そして来る11月4日、今帰仁村の子どもたちが所属する舞踊集団「北山の風」と「いまじん太鼓」の進修館公演が決定しました。「沖縄の文化や今帰仁城跡の歴史をベースに琉球舞踊やエイサーを織り交ぜて演出さ

れている『北山の風』を通じて今帰仁の文化に触れてもらえたら」と話す比嘉さん。

「建物のつながりから始まる草の根的な交流から、人やものの往来や絆ができ、それぞの建物を住民が大切にしていけない」と今後への思いも話していました。



今帰仁村中央公民館周辺エリアでは、中央公民館の再整備も含め、村の魅力発信や地域住民と観光客等との連携交流、地域の生活拠点とするための整備事業が進んでいます。



8月13日～30日、中央公民館には手作りのペットボトル風鈴2800個が回廊に飾られ、訪れた地域の人々が建物への関心を寄せるきっかけづくりとなっていました。(撮影:比嘉克雄さん)

参加者募集！ 宮代町民俗舞踊連盟といっしょに、今帰仁のみなさんを舞踊で歓迎しよう！

11月4日（月祝）に大ホールで開催される、

「現代版組踊 北山の風 with 今帰仁子ども太鼓いまじん 公演」の会場で、宮代町民俗舞踊連盟のみなさんと「宮代音頭」「南中ソーラン」を踊って、今帰仁のみなさんを歓迎する舞踊チームのメンバーを募集します。

舞踊チームに参加いただける方は、公演チケットの割引があります。

(一般: 300円引き、小学生以下: 200円引き)



宮代町民俗舞踊連盟



現代版組踊「北山の風」

舞踊チーム練習会

日 時：10月20日（日）14:30～16:30
場 所：大ホール
参加費：無料
申 込：進修館受付まで（〆切 10月10日）

上記練習会にご参加をお願いします。



今帰仁子ども太鼓いまじん

進修館 × 今帰仁村中央公民館 交流記念企画

2024/11/04（月祝）開催！

めんそ～れ！ 沖縄県なきじんまつり in 進修館

「設計者が同じ」ということがきっかけで、2022年から緩やかに交流をしている進修館と、沖縄県今帰仁村中央公民館。これまで施設の運営などの情報交換などを行ってきましたが、この秋、初めての文化交流イベントを開催します！

現代版組踊 北山の風 with 今帰仁子ども太鼓いまじん 公演

日 に ち：2024年11月4日（月祝）
時 間：開場 13時30分 開演 14時
会 場：大ホール
チケット：前売り 一般 1500円（当日 1800円）
小学生以下 500円（当日 800円）

9月1日より、
進修館受付にて前売りチケット販売開始！



【現代版組踊 北山の風】

今帰仁村にある世界遺産「今帰仁城跡」が北山グスクと呼ばれていた時代…。時は1416年、琉球は三山時代の終わり頃、北山と中山との間に戦が起こります。北山王朝最後の王「攀安知」と北山の山狗と呼ばれた副将「本部太原」との確執、そして、王の忘れ形見である「千代松」の仇打ちを芝居やダンス、空手や琉球舞踊を織りませ描いた、知られざるもう一つの北山落城の物語です。



【今帰仁子ども太鼓いまじん】

今帰仁村出身の子どもや大人達による結成21年を迎える太鼓集団。パーランクーや太鼓など琉球太鼓の演奏や、幻想的な舞による創作演舞をぜひご覧ください。



【コミュニティセンター進修館】

1980年建築。設計は「象設計集団」。「世界のどこにもないような空間」「世界の中心」を意識して設計されています。すり鉢状の芝生広場を囲むように立っており、窓が多く館内にたくさん光が差し込むよう工夫されています。



【今帰仁村中央公民館】

1975年建築。設計は「象設計集団+アトリエ・モビル」。芝生広場を囲むように立つ平屋建てで、林立する赤い列柱が特徴的です。各部屋を分散して配置し回廊を増やすことで風が吹き抜けるように工夫されていてるそうです。